

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-512237(P2005-512237A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-551711(P2003-551711)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 17/50

H 0 1 L 21/82

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 6 8 K

H 0 1 L 21/82 T

H 0 1 L 21/82 C

H 0 1 L 21/82 W

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月3日(2004.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タイミングモデル抽出のためのアサーションハンドリングをインプリメントする方法であって、

アサーションと関連付けられている位置を識別するステップと、

タイミングモデルを抽出するステップと、

該アサーションを該タイミングモデルに自動的に関連付けるステップと

を包含する、方法。

【請求項2】

前記位置を識別するステップは、ピンを識別するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記アサーションは、前記タイミングモデルのピンを保持することによって保存される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記アサーションは、階層ピンに関連付けられた階層ピンアサーションを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

新たな内部ピンを作成するステップをさらに包含する、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

アークを作成するステップであって、該アークは、該アークのソースから前記新たな内部ピンへと伸びる、ステップをさらに含む、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記アークは、ゼロ遅延アークを含む、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記アークは、スループート保存アークを含む、請求項6に記載の方法。

【請求項 9】

前記階層ピンを前記新たな内部ピンにマッピングするステップをさらに包含する、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 10】

前記新たな内部ピンは、前記タイミングモデルに保持される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 11】

前記アサーションは、ポートアサーションを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ポートアサーションは、入力ポート、出力ポート、または双方向ポートのいずれかに関連付けられている、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ポートアサーションに関連付けられている新たな内部ピンを作成するステップをさらに包含する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記新たな内部ピンに対してアーカを作成するステップをさらに包含する、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記新たな内部ピンは、前記タイミングモデルに保持される、請求項 13 に記載の方法。

。

【請求項 16】

前記アサーションに関連付けられている情報は、前記タイミングモデルに格納される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記アサーションに関連付けられている情報は、セルレベルの属性として前記タイミングモデルに格納される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の方法を実行するシステム。

【請求項 19】

格納された命令のセットを有するコンピュータプログラム製品であって、該格納された命令のセットを実行することによって、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 つに記載の方法が実行される、コンピュータプログラム製品。